

# 大松

至誠 剛健 協同

香美町立香住小学校 学校だより  
(令和3年12月14日号) No. 33



## 香住小学校の授業風景【紙上授業参観⑭】

香住小学校の授業風景【紙上授業参観⑭】です。令和3年度2学期も佳境に入りました。

### ① 人権映画会



12月1日(水)より全学年で人権映画会を実施し、部落差別等さまざまな人権課題について学びました。子どもたちには、身の回りの不合理や矛盾に気づき、差別を解消しようという意志を持ってくれることを期待しています。

### ② 香住幼稚園との交流

12月1日(水)、1年生が香住幼稚園に出かけて園児と交流しました。今回は、音読劇を披露して園児から拍手喝さいを浴びました。少し“おにいちゃん”“おねえちゃん”になって、得意げな表情をしている1年生の様子が印象に残りました。



### ③ いのちの学習



12月7日(火)、4年生が外部講師をお招きして、「いのちの学習」を行いました。絵本の読み聞かせの中に、「いのちってなんでしょう?」「これから生きていく時間、それがきみたちのいのち」という言葉が出てきて、たいへん印象に残りました。

# 音楽会 (11月26日撮影 ※鑑賞会12月6日) 香住小学校HPもご覧ください



1年生「きらきらぼし」



2年生「かえるのがっしょう」「山のポルカ」



3年生「アイアイ」



4年生「茶色の小びん」



5年生「威風堂々」



6年生「アフリカン・シンフォニー」

令和3年度の音楽会をビデオ撮影形式(コロナ禍のため)で開催しました。私も音楽は好きですが、ほぼ“聴く音楽”のみの愛好家です。いっぽう、音楽会における香住小学校の子どもたちは“聴かせる音楽”に取り組み、しかも、各学年全員の力を結集させて“音”を作り出したということに大きな価値があります。中には、音楽が苦手な児童も居ることでしょう。もしかしたら、音楽が嫌いだったという児童もいたかもしれません。ところが、日々練習に練習を重ね、徐々に綺麗な音が出始め、そして、いつのまにか音楽を楽しんでいる自分に気がついた児童が多かったはず。そんな様子がひとりひとりの表情からにじみ出ているのが私には伝わってきました。子どもたちに心から拍手を送りたいと思います。また、コロナ禍の中、香住小学校の伝統ある音楽会を絶対に途切らせまいとさまざまな工夫をした本校の職員もどうか褒めてやってください。

- ・6年生有志によるハンドベル演奏とプラスアンサンブルクラブによるプラス演奏が音楽会に花を添えてくれました。
- ・21日(火)、22日(水)の期末個別懇談会の際には、保護者の皆様にもビデオ鑑賞をしていただくべく準備をしますので、どうぞ楽しみになさっててください。

## 松葉ガニ初せり紀行③

さあ、待ちに待ったせりの始まりだ。せり人の方のリズミカルで威勢の良い声が私の耳にもしっかりと聞こえてくる。「これだかな、これ。これが漁港のせりというもんだかな！」胸の鼓動が高鳴る。新聞記者がカメラを構えている。観光客が動画を撮影している。そして、私も、この光景を是非とも記録にとどめておきたい一心でカメラのシャッターを切る。ところが、やはり私はただの素人。せり人の方が何とおっしゃっているのかが分からない。よく耳を澄まして聞くのだが、どうしても分からない。カニの値段を決める営みを行っているのだから、おそらく数字(値段)などを連呼なさっているのであろうが、素人の私にはうまく聞き取れない。ただし、それがゆえに余計に玄人(プロ)の威厳を感じる。いっぽう、前に陣取っている仲買人の皆さんは、指でさかんにせり人の方に対してなにやら合図を送っておられる。どなたも真剣なまなざしだ。これもまさに玄人(プロ)同士のつばぜり合いというものか。そして、一段落すると集団が少しずつ動いて次の場所へ。また一段落すると次の場所へ。次のカニ、次のカニへと集団が動いていく。約30分程度見学したであろうか。あっという間に時間が過ぎた。空腹が一気に満腹になったような満足感を得る。また、いちだんと香住の町が好きになる。そういえば、この町にお世話になってそろそろ一年が経つ。<つづく>



※松葉ガニのせりに先立って、その他の魚介類のせりも12:45より見学させていただきました。したがって、長時間にわたり香住港に滞在させていただいたこととなります。保護者の皆様の中に関係の方がおられましたら、この場をお借りしてお礼申し上げます。